

氷見市宮田公民館

◆事業の目的

ジオラマづくりや地域内にある「トンボの宝庫」乱橋池の生物観察をとおして、地区住民が地域を再確認し、里山の自然を共同して守ることにより、住民の交流を図る。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月29日(日)	自然体験教室(乱橋池)	地区内	150名
4月～2月	ふるさと学習(ジオラマ作り)	地区内	90名

◆事業の様子

☆ 地域の動植物の観察(乱橋池)

子供たちに乱橋池(とんぼ池)周辺でとんぼをはじめとした生物の生態等観察学習をした。

多くの種類のトンボを实际見て、自然豊かな里山を再確認した。



☆ ふるさと学習(ジオラマづくり)

かつて「布勢の水海」と氷見市の平野部に位置する宮田地区のジオラマ(模型)づくりを行った。

製作過程で計画・準備・製作方法等について学習会を行った。



◆事業の成果と課題

現在の宮田地区の自然環境と動植物の観察を通して、近年の生態環境の変化を見守る気持ちを住民が強くなった。

ジオラマ作成を通して、地域全体を確認することとなった。この成果により、次年度はもっと充実した計画を立てて、地域のあり方や地域協働を考えていきたい。